

国内関係情報

◎ 「2020 美濃焼新作展示会」 取材報告

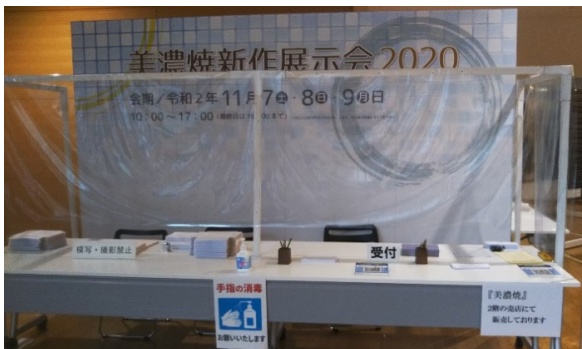
事務局 小川 展弘

岐阜県陶磁器工業協同組合連合会主催による「2020 美濃焼新作展示会」が、11月7日(土)～9日(月)の3日間、岐阜県多治見市にあるセラミックパーク MINO・国際会議場で開催されました。美濃焼は、全国屈指の陶磁器の産地、東濃地方西部で地場産業として発展してきました。しかし、国内需要の成熟化、消費者ニーズの変化、原材料価格の高騰など厳しい環境の下、既存製品の高付加価値化や新しい製品ジャンルの開拓が求められています。これに対応すべく、日々研鑽し、消費者により良い製品を届ける為に努力、創作意欲の高揚をめざし、新作品の開発とその展示 PR として、今年度は新型コロナウイルスにより、数々のイベントが中止になる中での開催で、今年で43回目になりました。

同時開催として、「美濃焼タイル展」も開催されました。

後援： 中部経済産業局 岐阜県 多治見市 土岐市 瑞浪市
東濃信用金庫 陶都信用農業協同組合 (株)商工中金 (株)十六銀行 (株)大垣共立銀行
日本陶磁器工業協同組合連合会 (一財)日本陶業連盟 岐阜県中小企業団体中央会
中部経済新聞社 中日新聞社 岐阜新聞社・岐阜放送

< 展示会場 >



今回の新作展示会は、34のメーカー・窯元より83点の作品が展示されました。その中から、「グランプリ(中小企業庁長官賞)」には市原製陶(株)の「TRIP WARE キャラメル・アイボリー」が、「準グランプリ(経済産業省製造産業局長賞)」には、(株)深山の「日染」、「準グランプリ(中部経済産業局長賞)」には、窯元 荒神窯の「カエルの除菌ポンプ」がそれぞれ選ばれました。その他、岐阜県知事賞、奨励賞10点、入選5点選ばれました。その中より一部を紹介します。



※以下商品説明は展示パネルより抜粋

<グランプリ: 中小企業庁長官賞>



「TRIP WARE キャラメル・アイボリー」 市原製陶㈱

新型コロナウイルス感染症の影響下で開かれる 2020 美濃焼新作展示会では、この時代と新しい生活様式にマッチした提案のある作品がより説得力を持っている。

この作品は、外食から家庭内での食事の比重が多くなっていくコロナ禍のなかで、汎用性があり、食べ残しを保存したり、温めなおしたりする機能性も優れ、また材料のリサイクルという時代の要請に応えることも含めて、より実用的な提案がなされていて完成度が高い。

<準グランプリ: 経済産業省製造産業局長賞>



「日染」 榑深山

千鳥と雪の結晶によって季節を表現したこのカップ・アンド・ソーサーは、微妙な曲線によって作られた形態が優雅である。単調に陥らないそのデザイン性が特に優れている。絵柄の関係から使う時期が限定され、使うことを躊躇される恐れもあるが、敢えて季節性を前面に出す潔さを感じられる。

<準グランプリ: 中部経済産業局長賞>



「カエルの除菌ポンプ」 窯元 荒神窯

社会全体が、新型コロナウイルス感染症に直面する事態の中で、何が我々の心に響くか？という思いで審査する審査員にとって、器ではないこの作品は、ユーモラスでどこか ホットとさせる力を持っている。品の良い器に挑戦する思いも感じられる。「無事に帰る」にかけて除菌ポンプと組み合わせたカエル型のこの作品であれば、外出先から帰った子供たちも喜んで消毒をすることだろう。

<岐阜県知事賞>



「ブランシェ シリーズ」小田陶器株式会社

<奨励賞:多治見市長賞>



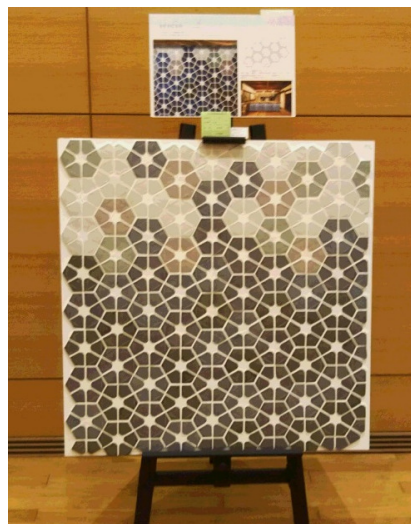
「吸水コースター『春、秋』」丸健製陶株式会社

<奨励賞:土岐市長賞>



「ミツ組ウェーブリップ9クープ」株式会社フクダ

<奨励賞:瑞浪市長賞>



「ASAGAO」杉江製陶株式会社

<奨励賞:日陶協連理事長賞>



「薄軽美濃焼タンブラー・極!!」川又製陶所

<奨励賞:岐陶工連理事長賞>



「藍銀彩」株式会社三峰陶苑

以上